

## 吸音材・遮音材のトップメーカー

2025年度は売上高650億円を目指す

## 日本特殊塗料

## 特徴と強み

## 「塗料事業」と「自動車製品事業」の2本柱

日本特殊塗料(4619)は、1929(昭和4)年に航空機用塗料の開発からスタート。その後、1953年に自動車用防音・防錆塗料「ニトク・アンダーシール」を開発して

「自動車製品事業」に参入。現在では、自動車用の吸音材・遮音材は国内トップクラスを誇る。国内では6つの工場を有し、海外でも米・中・タイ・インドネシア等で生産販売を行なっている。

同社は前述の「自動車製品事業」と「塗料事業」の2事業を主軸としている。2022年3月期決算の売上高構成比では、「自動車製品事業」が3分の2を占める。同事業の売上の半数近くを占め牽引し

ているのが、吸・遮音材部門

だ。反響音を弱める吸音材、音の波動を減少させる遮音材を効果的な箇所に配置して、自動車の静粛性向上に貢献している。また、防錆技術は、自動車のアンダーフロアやフェンダー部分などに採用。自動車の耐久性を高め、耐用年数の延長に役立っている。これらの防音技術や製品は、国内の主要自動車メーカーで多数採用されている。

「塗料事業」では、航空機用塗料の技術を基盤に、建築・建物用塗料も取り扱う。さらに宇宙航空研究開発機構の月周回衛星にも、採用されている。同事業の中でも、子会社ニトクメンテナンスが手掛ける、集合住宅の大規模改修工事などの請負工事の売上が、堅調に推移している。

## 目指すところ

2025年3月期の売上高目標は650億円

今年5月に発表された20

22年3月期決算の売上高は、547億7900万円

(前期比14・1%増)、営業利益は14億8200万円

(同72・6%増)、経常利益は26億2500万円(同9・2%増)、当期純利益は13億円(同0・1%減)となった

昨年12月に、2022年3月期から2025年3月期までの4年間で対象とする、中期経営計画を策定。国内事業の安定的な

収益基盤の構築と、同事業ともにグローバル展開に注力していく。

「自動車製品事業」は、半導体不足により自動車減産の影響を受けているが、技術の提供先、海外関連会社との連携を強化して、生産性の向上を図る。「塗料事業」は、多様な

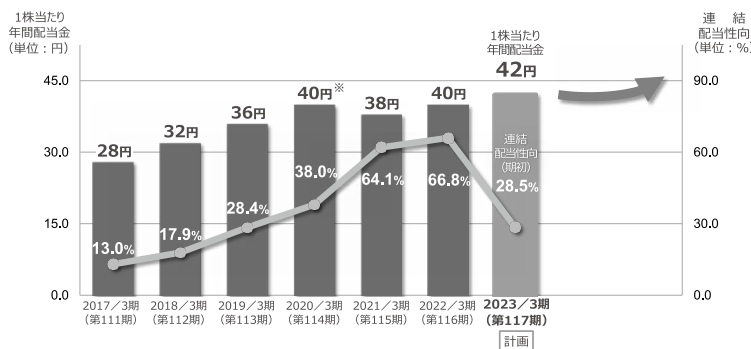
ニーズに則した高付加価値製品の開発・販売を推進するとともに、海外マーケットの開拓に注力していく。最終年度の2025年度には、売上高

650億円、経常利益61億円を目指す。

戦略的投資に向けた資金充実とともに、株主への利益還元も重要視している。2016年3月期から2020年3月期までは5期連続の増配。今後も配当性向は、30%を目標にしている。2022年の年間配当金は40円、今期は42円を予定している。

## 利益還元

安定配当をベースに、戦略的投資に向けた資金充実、財政状態・利益水準、配当性向(30%を目安)等を総合的に勘案し、決定(安定配当+α)



650億円、経常利益61億円を目指す。

## 株主への利益還元

戦略的投資に向けた資金充実とともに、株主への利益還元も重要視している。2016年3月期から2020年3月期までは5期連続の増配。今後も配当性向は、30%を目標にしている。2022年の年間配当金は40円、今期は42円を予定している。

## 企業メモ

【事業内容】自動車用防音材、防錆塗料などを扱う自動車製品事業や塗料事業を展開。90年以上の実績を誇る。



業績	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2022年3月期	547億7900万円	14億8200万円	26億2500万円	13億円
2023年3月期予想	605億円	24億5000万円	40億円	27億円

決算: 3月 単元株数: 100 配当予想: 1株当たり42円

本社所在地: 東京都北区王子3丁目23番2号

問い合わせ: 03-3913-6134 <https://www.nittoku.co.jp/>